

がりのために、地元商工会として地域の新しい魅力づくりに取り組んでいるところです。

日帰りであることができ、それでいてたっぷり一日を楽しめる、例えば農業体験など体験型のレジャーですね。自然の中で、ゆったりと流れる時間をせたくに味わう場所…。津久井や城山を、ほかにはない個性的な観光スポットにしたいと思っています。



### 圏央道を、日本人の活力源にしたい

協同組合Sia神奈川 代表理事  
株式会社不二WPC 代表取締役  
**下平 英二さん(南区)**

圏央道の開通による経済的な効果は言うまでもありませんが、私は、人の情操への好影響に注目しています。行動半径が格段に広がり、新しい出会いも生まれる、それが日本人がおちいっている閉塞感を打開し、新たな活力につながるのではないかと、そんな期待をしています。

インフラの整備で暮らしの利便性が増し、広域のネットワークが生まれます。ただ、それぞれの地域が持つオリジナリティーは失いたくありませんね。むしろ、もっと地域の個性を強め、それを認め合うことで本当の交流が生まれ、経済効果もさらに高まるのではないかと思います。

私は、金属の表面加工の会社を経営していますが、「ものづくりのまち」は相模原市の大きな魅力の一つです。ぜひ多くの人に相模原を訪れていただき、その魅力を実際に知ってほしいと思います。圏央道がそんなことに活用されれば、うれしいですね。



### かつてなかった広域交流が実現

相模湖リゾート株式会社  
取締役会長  
**福重 隆一さん**

圏央道の開通により、各地域間のアクセスが格段に向上し、かつてなかったような広域交流が実現します。相模原市は首都圏・北関東などの広域交流の重要な拠点として発展が期待されます。

特に、来年3月、相模原ICが完成すれば、相模湖・藤野地区は、首都圏の身近なリゾート地として、多くの方にさらに気軽に楽しんでいただけるようになると思います。

私ども「さがみ湖リゾートプレジャーフォレスト」は、遊園地・イルミネーション・温泉およびアウトドアを併設し、四季を通じて多くのお客さまに楽しんでいただけるよう、さらに取り組みを進めてまいります。また、7月には日本初上陸の爽快スリルアトラクション「大空天国」を開業致しますのでご期待ください。

を訪 力を へが 出か 不京、 宗内、 豆か、 込の、 区は、 元の 観光 代に 大道

## まちの未来に向けて

「圏央道を、相模原市の未来に向けて、どのように活用していくかと考えていますか。」

加山 相模原市は、60年前人口約8万人でスタートしました。この間、市内の産業の発展、ゆたかな暮らしの実現などに取り組み、今では72万人の政令指定都市へ移行。それにもない、首都圏における役割も大きく変わってきました。

これからは、産業も、観光も、人の交流も、安全な暮らしも、一つの地域一つの都市だけで考えていくことはできません。あらゆる面で、他地域との連携が求められています。圏央道の開通、二つのICの開設、さらに橋本駅付近に予定されているリニア中央新幹線駅の設置など、首都圏における交通ネットワークの充実、都市機能としての利便性の向上、まさにその中心に本市は位置することになります。

模原のまちづくりの方向性だと思っています。圏央道は、本市の産業や観光の発展、豊かな暮らしの実現に大きな役割を果たします。これらに加え、今後の創出、さらに国際化に対応したコンベンション機能、広域的な防災拠点としての役割など、首都圏全体を視野に入れたまちづくりが求められます。



相模原市「橋本」駅付近。首都圏の交通ターミナルとしての役割が期待されている。(相模原市緑区橋本)

